

東北こども福祉専門学院

Monday, June 10, 2019

子どもたちの言語獲得

(1) 言語獲得理論

- ① 子どもたちが言語を獲得できるのはなぜか？
- ② 行動主義アプローチ B. F. Skinner (スキナー)
- ③ 行動主義アプローチへの批判：Noam Chomsky (チョムスキー)  
「普遍文法」(Universal Grammar)

(2) 言語的音声の獲得

- ① 初語 (first word)
  - ・ 生後 10～14 ヶ月齢：
  - ・ 生後 1.5～2 ヶ月齢：
  - ・ 出生後 3 ヶ月あまりの間は、音声を発することが物理的に不可能な発声器官を持っていることが分かってきている。 出生後 3 ヶ月で、下顎や、のどを包んでいる骨格が短期間に急速に成長し、器官の先端部が沈降する。
  - ・ 7 ヶ月齢～：「喃語」(babbling)
- ② 母親の語りかけ：マザリーズ (motherese) の役割
- ③ 乳児の聴覚感度

(3) 記号の体系として言語を獲得

例) 「私がリンゴを食べる」  
「私」、「が」、「リンゴ」、「を」、「食べる」

(4) 語彙の爆発的増加 (word explosion)